

都市再生整備計画 事後評価シート(案)

南部地区

令和7年10月

大分県別府市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	大分県		市町村名		別府市		地区名		南部地区		面積		73ha		
交付期間	平成30年度～令和6年度		事後評価実施時期		令和7年度		交付対象事業費		316.6百万円		国費率		0.434		
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	事業名 地域生活基盤施設(広場)、高質空間形成施設(市道日の出国分町線)、高次都市施設(地域交流センター)												
		提案事業	事業活用調査(楠銀天街活用検討業務、事業効果分析調査)												
	当初計画 から 削除した	基幹事業	なし				削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	なし				-				-				
		新たに追加した事業	基幹事業	なし				-				-			
	提案事業	なし				-				-					
交付期間 の変更	当 初	平成30年度～令和5年度		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響	なし										
	変 更	平成30年度～令和6年度													
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ	
				基準年度		目標年度		モニタリング		評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期
	指標1	地域交流センター利用者 数	人／年	9,313	H30	10,000	R5		9,928	△	あり	●	供用開始当初は利用者が伸び悩み、令和5年度に大幅に利用者が増加したものの、目標達成には至らず、令和6年度に目標を達成した。増加要因としては、各教室等で常に参加者の意見を聞き取りながらPDCAサイクルを回し、内容を継続的にブラッシュアップしてきた結果、次第に新規参加者数や教室の開催回数の増加につながったものと考えられる。	毎年度	
											なし				
	指標2	楠銀天街歩行者数	人／7h	547	H30	600	R6		126	×	あり		人口減少や工事延伸の影響に加え、アーケード撤去による日よけ機能の喪失も、人通りの減少に影響した可能性がある。沿道の利活用が進み、通りの賑わいが回復するには、一定の期間を要すると考えられる。	令和8年8月下旬	
											なし	●			
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ	
				基準年度		目標年度		モニタリング		評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期
	その他の 数値指標1	地域交流センターの維持 管理費	千円/年	10,699	R2								引き続き、利用者ニーズを踏まえた利用環境の整備や教室等の開催に取り組み、継続利用者及び新規利用者の確保に努める。	-	
	その他の 数値指標2	楠銀天街の路線価	千円/m	44.7	H30								歩行空間の高質化整備や新たなまちづくり団体の組成をきっかけに、沿道の利活用を促進し、通りの賑わいの回復を図るとともに、日よけや休憩施設など快適性・潜在性向上策を組み合わせ、一定期間をかけて段階的な改善に努める。	-	
4)定性的な効果 発現状況	・複合施設と広場を一体的に整備・活用することで、スポーツや文化活動を通じた多世代交流の場として機能し、地域コミュニティの強化や賑わいの創出に寄与している。 ・多機能な複合施設の整備により、効率的な公共サービスの提供と施設利用の最適化が図られている。 ・市道日の出国分町線における歩行空間の高質化整備と、老朽化した商店街アーケードの撤去により、開放的で歩行者にとって快適かつ魅力的な空間が形成されるとともに、防災性の向上にも寄与している。 ・住民や商店街関係者等と意見交換を重ねながら、市道日の出国分町線の整備や商店街の活用策の検討を進める中で、新たな管理・運営団体が発足するなど、楠銀天街の活性化に向けた機運が一層向上している。														
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等				
	モニタリング	事業の進捗状況を確認しながら、適宜計画の変更を実施した(計4回)。					都市再生整備計画に記載し、実施できた					●			
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	官民連携による 取組	楠銀天街検討委員会を計4回、楠銀天街意見交換会を計2回実施し、住民や商店街関係者等とともに、新たな将来像や具体的な取組み等の検討や意見交換を実施した。					都市再生整備計画に記載し、実施できた					●			
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった															
持続的なまちづくり 体制の構築	「楠銀天街検討委員会」において、勉強会や先進地視察を進め、今後の取組みを進めていくための組織づくりについて検討し、新たな管理・運営団体「BEPPU楠銀通り会」が設立された。					都市再生整備計画に記載し、実施できた					●				
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

[illegible]